

## 栄寿会伊勢村田製作所工場見学会旅行報告

京都支部 野口博司

11月27日に伊勢村田工場見学へ京都支部の会員21名の方(以下会員OBと略す)が参加されました。

午前9時に長岡京駅前を出発し、伊勢村田製作所(三重県津市を事業拠点とする工場)へ向かいました。当日は、天気も良く伊勢村田への道中、新名神が横断する鈴鹿の山々の美しく色づいた紅葉を楽しみながら、伊勢村田工場へ向かいました。

高速も混むことなく定刻に、伊勢村田へ到着することができました。

伊勢村田では、中川工場長をはじめ事務課の方々、製造部、品証部の方々に出迎えて頂き、記念撮影後に、中川工場長から会社の概要(歴史、製造製品、要素技術、組織など)説明を頂いた後に、工程見学をさせて頂きました。



工程見学では、会員OBの皆さん

は、久しぶりに触れる現場の様子を観て、目を輝かし現役で働いておられたころの経験や知識を思い起こされたのか、興味がつきず各専門分野からの質問やアドバイスをされ、見学会の時間ぎりぎりまで、盛り上がりました。

お忙しい中、会員OB全員に手厚い対応をして頂き、中川工場長をはじめ伊勢村田の社員の皆様に大変感謝いたします。ありがとうございました。

工場見学会の後、伊勢村田がある三重県津市の地域のことも知って頂くために昼食は、津のソウルフードと言われているうなぎ料理を食べに行きました。



うなぎ屋は津市にある「津うのうなぎ」を食べさせてくれると評判の創業明治8年うなぎ一筋、140年以上続く「老舗のうなぎ処つたや」で、取りました。

つたやさんでは、5代目女将のはからいで、落ちついた風情のある和室宴会場を栄寿会へ



使わせて頂き、受け継がれてきた秘伝のたれで鰻をふんわりと香ばしく焼かれたかば焼きや、脂がのった白焼きなどの「鰻のコース料理」に舌鼓を打ち、お腹いっぱいになりました。



会員 OB の皆さんは、食事をしながら伊勢村田の工場見学での興味がつきないのか見学会での気づき話や近況話などで、盛り上りました。

昼食後は、予定していたもう一つの見学場所「専修寺(せんじゅじ)」へ向かいました。この専修寺は、国宝・重要文化財の大伽藍を構える全国 600 余寺を数える真宗高田派の本山で、正式には「真宗高田派本山 専修寺」と呼ばれるお寺で、境内は、かなり広く(約3万坪(東京ドーム2個分程);※境内の説明表示から引用)、会員 OB の皆さんは思い思いに境内を散策されていました。私は、時間の関係で写真手前の本尊阿弥陀如来立像(国宝)を安置する如来堂を参拝し数人の方と健康祈願をしてきました。三重



県の穴場のお寺で、家族でゆっくりこよやかなと思う程、魅かれるお寺でした。専修寺を最後に伊勢村田工場のある三重県津市を午後 4 時ごろ出発し京都へ向い戻りました。参加された OB の皆さんは、アツという間に過ぎ去った楽しい1日の出来事にお疲れになったのか、京都への帰路のバスの中は多くの方が眠られておられました。安全運転で事故もなく全員無事に午後6時頃に長岡

京へ到着しました。会員 OB 全員の方が、大変満足された様子でした。

最後に、今回の工場見学会でお世話になった伊勢村田の方々をはじめ、昼食場のうなぎ処つたや様、バスを安心・安全に運転して下さった運転手の方へ心より感謝いたします。